

サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』 【生成サンプル】

1.本サンプルについて

本サンプルは、サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』を使用して生成された編集可能な Microsoft Excel (.xlsx) 形式のファイルを、PDF化したものです。実際に生成される設定仕様書は非常に情報量が多いため、繰り返しの部分などを一部省略しておりますが、出力される項目については全てご確認いただける内容となっております。

2.サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』とは

セイ・テクノロジーズでは設定仕様書(パラメーターシート)を自動で作成するサービス『SSD-assistance』を提供しております。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

3.お問い合わせ

SSD-assistanceに関するお問い合わせは、お気軽に以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

サーバー 設定仕様書

【機能設定】

仕様書商事 様

コンピューター名	SAY-TECH-SV01
作成日	20YY年MM月DD日
作成者	セイ・テクノロジーズ

セイ・テクノロジーズ株式会社

(住所)

改訂履歷

1. ファイアウォール (送受信の規則)

Windows Defender ファイアウォールの受信の規則、および送信の規則の一覧です。

2. ファイアウォール (詳細設定)

Windows Defender ファイアウォールの設定、接続セキュリティの規則、受信の規則と送信の規則の詳細な設定内容を記載しています。

3. タスク スケジューラ

タスク スケジューラの一覧です。

4. タスク スケジューラ (詳細設定)

タスク スケジューラの詳細設定を記載しています。

5. DNS

DNSのサービス、サーバーのプロパティ、前方参照ゾーン・逆引きゾーン、条件付きフォワーダーの設定を記載しています。

6. DHCP

DHCP サーバーの設定、IPv4のプロパティとIPv6のプロパティの内容を記載しています。

7. Windows サービス

本書に関連する、次のサービスの設定を記載しています。

DHCP Server
DNS Server

◆商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. ファイアウォール (送受信の規則)

※受信の規則、送信の規則はそれぞれ1000件まで記載しています。

1.1. 受信の規則

No. 1 (受信)

名前	コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)		
プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン	<input checked="" type="checkbox"/> プライベート	<input checked="" type="checkbox"/> パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	System		
プロトコル	IPv6-ICMP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	LocalSubnet		
ローカル ポート	任意		
リモート ポート	任意		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		
承認されたローカル プリンシパル	任意		

No. 2 (受信)

名前	アカウント		
プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン	<input checked="" type="checkbox"/> プライベート	<input type="checkbox"/> パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	任意		
プロトコル	任意		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	任意		
リモート ポート	任意		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		
承認されたローカル プリンシパル	任意		

No. 3 (受信)

名前	Skype for Business		
プロファイル	<input type="checkbox"/> ドメイン	<input type="checkbox"/> プライベート	<input checked="" type="checkbox"/> パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	C:\Program Files\Microsoft Office\Office16\lync.exe		
プロトコル	TCP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	すべてのポート		
リモート ポート	すべてのポート		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		

一部省略

1.2. 送信の規則

No. 1 (送信)

名前	ファイルとプリンターの共有 (NB 名送信)		
プロファイル	<input type="checkbox"/> ドメイン	<input checked="" type="checkbox"/> プライベート	<input type="checkbox"/> パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	System		
プロトコル	UDP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	すべてのポート		

リモート ポート	137
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

No. 2 (送信)	
名前	SmartScreen
プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン <input checked="" type="checkbox"/> プライベート <input checked="" type="checkbox"/> パブリック
有効	はい
操作	許可
優先	いいえ
プログラム	任意
プロトコル	任意
ローカル アドレス	任意
リモート アドレス	任意
ローカル ポート	任意
リモート ポート	任意
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

No. 3 (送信)	
名前	ネットワーク探索 (LLMNR UDP 送信)
プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン <input type="checkbox"/> プライベート <input checked="" type="checkbox"/> パブリック
有効	いいえ
操作	許可
優先	いいえ
プログラム	%SystemRoot%\system32\svchost.exe
プロトコル	UDP
ローカル アドレス	任意
リモート アドレス	LocalSubnet
ローカル ポート	すべてのポート
リモート ポート	5355
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

一部省略

2. ファイアウォール (詳細設定)

2.1. Windows Defender ファイアウォールのプロパティ

ドメイン プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	
■ イーサネット	
■ イーサネット 2	

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	
ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい
ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

プライベート プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	
■ イーサネット	
■ イーサネット 2	

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	
ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい
ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

パブリック プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	
■ イーサネット	
■ イーサネット 2	

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	

ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい
ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

IPsec の設定

IPsec 既定

キー交換

● 既定

○ 詳細設定

セキュリティメソッド

キー交換に次のセキュリティ メソッドを使用します。一覧の上位のものが先に試行されます。

整合性	暗号化	キー交換アルゴリズム
SHA1	AES128	DH2
SHA1	DES3	DH2

キーの有効期間

分	480
セッション	0

キー交換のオプション

☐ Diffie-Hellman を使用してセキュリティを強化する

データ保護

● 既定

○ 詳細設定

☐ この設定を使用するすべての接続セキュリティ規則に暗号化を要求する

データの整合性 ※プロトコルは、Windowsの画面表示とは別の表現で記載している場合があります。

プロトコル	整合性	キーの有効期間(分/KB)
ESP	SHA1	60/100000
AH	SHA1	60/100000

データの整合性と暗号化 ※プロトコルは、Windowsの画面表示とは別の表現で記載している場合があります。

プロトコル	整合性	暗号化	キーの有効期間(分/KB)
ESP	SHA1	AES128	60/100000
ESP	SHA1	DES3	60/100000

認証方法

○ 既定

○ コンピューターとユーザー (Kerberos V5)

○ コンピューター (Kerberos V5)

● ユーザー (Kerberos V5)

○ 詳細設定

1 番目の認証

1 番目の認証方法

方法1

● コンピューター (Kerberos V5)

○ コンピューター (NTLMv2)

○ コンピューター証明書

○ 事前共有キー

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

☐ 正常性証明書のみを受け入れる

☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	<div><div>○ 制限なし</div><div>○ 選択のみ</div><div>○ 検証のみ</div></div>
------	--

拡張キー使用法 (EKU)	
証明書名の制限	
名前の種類の選択	
証明書の名前	
証明書の拇印	
拇印	
<input type="checkbox"/> 証明書の更新の追跡	

オプション

■ 1 番目の認証をオプションにする

2 番目の認証

2 番目の認証方法

方法1

- ユーザー (Kerberos V5)
- ユーザー (NTLMv2)
- ユーザー証明書
- コンピューター正常性証明書

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	<input type="radio"/> 制限なし	<input type="radio"/> 選択のみ	<input type="radio"/> 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			
証明書名の制限			
名前の種類の選択			
証明書の名前			
証明書の拇印			
拇印			
<input type="checkbox"/> 証明書の更新の追跡			

オプション

☐ 2 番目の認証をオプションにする

IPsec の除外

IPsec から ICMP を除く	いいえ
-------------------	-----

IPsec トンネルの承認

- なし
- 詳細設定

コンピューター

承認されているコンピューター (以下のコンピューターからの接続のみを許可する)

例外 (これらのコンピューターからの接続を拒否する)

ユーザー

承認されているユーザー (以下のコンピューターからの接続のみを許可する)

例外 (これらのユーザーからの接続を拒否する)

2.2. 接続セキュリティの規則

No. 1 分離

名前	分離
説明	分離

■ 有効

リモートコンピューター

エンドポイント1

- 任意のIPアドレス
- これらのIPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

エンドポイント2

- ☐ 任意のIPアドレス
- ☒ これらのIPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

プロトコルおよびポート

プロトコルの種類	任意
プロトコル番号	任意
エンドポイント1のポート	すべてのポート
エンドポイント2のポート	すべてのポート

認証

要件	受信と送信を要求する
----	------------

方法

- ☒ 既定
- ☐ コンピューターとユーザー (Kerberos V5)
- ☐ コンピューター (Kerberos V5)
- ☐ ユーザー (Kerberos V5)
- ☐ 詳細設定

1 番目の認証

1 番目の認証方法

方法1

- ☒ コンピューター (Kerberos V5)
 - ☒ Kerberos プロキシ サーバーを使用する
- ☐ コンピューター (NTLMv2)
- ☐ コンピューター証明書
- ☐ 事前共有キー

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

- ☐ 正常性証明書のみを受け入れる
- ☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	<input type="radio"/> 制限なし	<input type="radio"/> 選択のみ	<input type="radio"/> 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			
証明書名の制限			
名前種類の選択			
証明書の名前			
証明書名の拇印			
拇印			

- ☐ 証明書の更新の追跡

オプション

- ☐ 1 番目の認証をオプションにする

2 番目の認証

2 番目の認証方法

方法1

- ☒ ユーザー (Kerberos V5)
 - ☒ Kerberos プロキシ サーバーを使用する
- ☒ ユーザー (NTLMv2)
- ☐ ユーザー証明書
- ☐ コンピューター正常性証明書

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

- ☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	<input type="radio"/> 制限なし	<input type="radio"/> 選択のみ	<input type="radio"/> 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			

証明書名の制限	
名前種類の選択	
証明書の名前	
証明書名の拇印	
拇印	
<input type="checkbox"/> 証明書の更新の追跡	

オプション
<input type="checkbox"/> 2 番目の認証をオプションにする

詳細設定

プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン	<input type="checkbox"/> プライベート	<input type="checkbox"/> パブリック
インターフェイスの種類			

- ☒ すべての種類のインターフェイス
- ☐ これらのインターフェイスの種類
 - ☐ ローカル エリア ネットワーク
 - ☐ リモート アクセス
 - ☐ ワイヤレス

IPsec トンネリング

- ☐ IPsec トンネリングを使用する
 - ☐ 承認を適用する
 - ☐ IPsec で保護されている接続を除外する

ローカル トンネル エンドポイント (エンドポイント 1に最も近い)

IPv4	
IPv6	

リモート トンネル エンドポイント (エンドポイント 2に最も近い)

IPv4	
IPv6	

一部省略

2.3. 受信の規則/送信の規則

※受信の規則/送信の規則は合計で2000件を上限に記載しています。

No. 1 [受信の規則] コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)

名前	コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)
説明	マルチキャスト リスナー レポートのメッセージは、特定のマルチキャスト アドレスでのマルチキャスト トラフィックの受信、またはマルチキャスト リスナー クエリに対する応答のいずれか求める情報をすぐに報告するため、リスニング ノードで使用されます。

☒ 有効

操作

- ☒ 接続を許可する
- ☐ セキュリティで保護されている場合、接続を許可する
 - ☐ 認証され整合性が保護されている接続のみを許可する
 - ☐ 接続の暗号化を要求する
 - ☐ コンピューターに動的な暗号化の交渉を許可する
 - ☐ 接続に NULL カプセル化の使用を許可する
 - ☐ ブロックの規則より優先する
- ☐ 接続をブロックする

プログラムおよびサービス

プログラム	
<input type="radio"/> 指定の条件を満たすすべてのプログラム	
<input checked="" type="radio"/> 次のプログラム	System

アプリケーション パッケージ

- ☒ すべてのプログラムとアプリケーション パッケージに適用する
- ☐ アプリケーション パッケージのみに適用する
- ☐ このアプリケーション パッケージに適用する
- または、このアプリケーション パッケージ SID を持つアプリケーション パッケージに適用する

アプリケーションSID	
-------------	--

サービス

- ☒ すべてのプログラムとサービスに適用する
- ☐ サービスのみに適用する
- ☐ このサービスに適用する または、このサービスの短い名前が付いたサービスに適用する

サービス	
短い名前のサービス	

コンパートメント			
<input checked="" type="radio"/> 指定の条件を満たすすべてのコンパートメント			
<input type="radio"/> 次のコンパートメント			
リモート コンピューター			
承認されているコンピューター (以下のコンピューターからの接続のみを許可する)			
例外 (以下のコンピューターからの接続にはこの規則を適用しない)			
プロトコルおよびポート			
プロトコルの種類	IPv6-ICMP		
プロトコル番号	58		
ローカルポート			
リモートポート			
インターネット制御メッセージプロトコル (ICMP) の設定			
<input type="radio"/> すべての種類の ICMP			
<input checked="" type="radio"/> 特定の種類の ICMP			
マルチキャスト リスナー レポート	(131:*)		
スコープ			
ローカルIPアドレス			
<input checked="" type="radio"/> 任意のIP アドレス			
<input type="radio"/> これらのIP アドレス			
リモートIPアドレス			
<input type="radio"/> 任意のIP アドレス			
<input checked="" type="radio"/> これらのIP アドレス			
ローカル サブネット			
詳細設定			
プロファイル	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン	<input checked="" type="checkbox"/> プライベート	<input checked="" type="checkbox"/> パブリック
インターフェイスの種類			
<input checked="" type="radio"/> すべての種類のインターフェイス			
<input type="radio"/> これらのインターフェイスの種類			
<input type="checkbox"/> ローカル エリア ネットワーク			
<input type="checkbox"/> リモート アクセス			
<input type="checkbox"/> ワイヤレス			
エッジトラバーサル	エッジ トラバーサルをブロックする		
ローカル プリンシパル			
承認されているユーザー (以下のユーザーのみに接続を許可する)			
例外 (以下のユーザーからの接続にはこの規則を適用しない)			
リモートユーザー			
承認されているユーザー (以下のユーザーのみに接続を許可する)			
例外 (以下のユーザーからの接続にはこの規則を適用しない)			

一部省略

3. タスク スケジューラ

この一覧のタスクの記載順は更新日時の降順です。
また、更新日時についてはシステムフォルダー(%SystemRoot%\system32\Tasks)配下の設定ファイルの更新日時を参照しています。

場所	名前	状態	作成日時	作成者	更新日時
%Microsoft%\Windows%\Windows Update%	Scheduled Start	Ready		Microsoft Corporation.	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Schedule Scan	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Reboot	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\Software ProtectionPlatform%	SvcRestartTask	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	MusUx_LogonUpdateResults	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	MusUx_UpdateInterval	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%	MicrosoftEdgeUpdateTaskMachineCore	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%	MicrosoftEdgeUpdateTaskMachineUA	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\Data Integrity Scan%	Data Integrity Scan	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Resume On Boot	Disabled			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\ .NET Framework%	.NET Framework NGE v4.0.30319 64	一部省略			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
			14:53:37.9516706		

4. タスク スケジューラ (詳細設定)

※本章における期間の表記について

タスク スケジューラでは期間を指定する設定がいくつかあります。それらの期間は次のフォーマットで表記しています。

フォーマット: d.hh:mm:ss (d: 日、hh: 時、mm: 分、ss: 秒)

例: 30分 → 00:30:00

3日 → 3.00:00:00

72時間 → 3.00:00:00

※各タスクの更新日時についてはシステムフォルダー(%SystemRoot%\system32\Tasks)配下の設定ファイルの更新日時を参照しています。

※本章のタスクの記載順は場所と名前の昇順です。

No. 1 UbtFrameworkService

場所	¥
名前	UbtFrameworkService
状態	Disabled
説明	User Experience Improvement Program Framework Service
作成日時	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
作成者	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
更新日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss

セキュリティオプション

タスクの実行時に使うユーザー アカウント

ユーザー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
グループ	Everyone

☐ ユーザーがログオンしているときのみ実行する

☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する

☐ パスワードを保存しない (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)

☒ 最上位の特権で実行する

☒ 表示しない

構成: Windows Vista™, Windows Server™ 2008

トリガー

※カスタム トリガーについては、システムで定義、管理されており、設定できない為、設定内容を記載しておりません。

No. 1

タスクの開始	ログオン時
--------	-------

設定

☒ 任意のユーザー

☐ 特定のユーザー

詳細設定

<input checked="" type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	00:06:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

操作

No. 1

優先順位	1
操作	プログラムの開始

設定

プログラム/スクリプト	"C:¥Program Files¥Acer¥User Experience Improvement Program Service¥Framework¥TriggerFramework.exe"
引数の追加	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
開始	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

条件

アイドル	
<input type="checkbox"/> 次の間アイドル状態の場合のみタスクを開始する	00:10:00
アイドル状態になるのを待機する時間	01:00:00

- ☒ コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する
- ☐ 再びアイドル状態になったら再開する

電源	
<input type="checkbox"/> コンピューターを AC 電源で使用している場合のみタスクを開始する	
<input type="checkbox"/> コンピューターの電源をバッテリーに切り替える場合のみ停止する	
<input type="checkbox"/> タスクを実行するためにスリープを解除する	

ネットワーク	
<input type="checkbox"/> 次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する	任意の接続

設定	
<input checked="" type="checkbox"/> タスクを要求時に実行する	
<input type="checkbox"/> スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにタスクを時刻する	
<input checked="" type="checkbox"/> タスクが失敗した場合の再起動の間隔	00:02:00
再起動試行の最大数	999 回
<input type="checkbox"/> タスクを停止するまでの時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に停止する	
<input type="checkbox"/> タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまでの時間	
タスクが既に実行中の場合に適用される規	新しいインスタンスを開始しない

No. 2 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

場所	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
名前	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
状態	Ready
説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
作成日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss:fff
作成者	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
更新日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss

セキュリティオプション	
タスクの実行時に使うユーザー アカウント	
ユーザー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
グループ	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

- ☒ ユーザーがログオンしているときのみ実行する
- ☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する
- ☐ パスワードを保存しない (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)
- ☒ 最上位の特権で実行する

<input type="checkbox"/> 表示しない	構成:	Microsoft Windows 10 Pro
--------------------------------	-----	--------------------------

トリガー

※カスタム トリガーについては、システムで定義、管理されており、設定できない為、設定内容を記載しておりません。

No. 1

タスクの開始

スケジュールに従う

設定

開始

YYYY-MM-DDThh:mm:ss

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 1回

☐ 毎日

☐ 毎週

☐ 毎月

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する (ランダム)

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☒ 有効期限

YYYY-MM-DDThh:mm:ss

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 2

タスクの開始

ログオン時

設定

☐ 任意のユーザー

☒ 特定のユーザー

SAY¥Tech-User

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 3

タスクの開始

スタートアップ時

詳細設定

☒ 遅延時間を指定する

00:15:00

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 4

タスクの開始

アイドル時

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

00:15:00

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 5

タスクの開始

イベント時

設定

☐ 基本

● カスタム

ログ	
ソース	
イベントID	
XML	Microsoft-Windows-Winsock-WS2HELP/Operational">*[System[(Level=1) and TimeCreated[timediff(@SystemTime) <

詳細設定

<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
■ 有効	

No. 6

タスクの開始	タスクの作成/変更時
--------	------------

詳細設定

<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
■ 有効	

No. 7

タスクの開始	ユーザー セッションへの接続時
--------	-----------------

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

<コンピューター>

● リモート コンピューターからの接続

○ ローカル コンピューターからの接続

詳細設定

<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
■ 有効	

No. 8

タスクの開始	ユーザー セッションからの切断時
--------	------------------

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

<コンピューター>

● リモート コンピューターからの接続

○ ローカル コンピューターからの接続

詳細設定	
<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	

No. 9	
タスクの開始	ワークステーション ロック時
設定	

<ユーザー>	
<input checked="" type="radio"/> 任意のユーザー	
<input type="radio"/> 特定のユーザー	

詳細設定	
<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	

No. 10	
タスクの開始	ワークステーション アンロック時
設定	

<ユーザー>	
<input checked="" type="radio"/> 任意のユーザー	
<input type="radio"/> 特定のユーザー	

詳細設定	
<input type="checkbox"/> 遅延時間を指定する	
<input type="checkbox"/> 繰り返し間隔	01:00:00
継続時間	01:00:00:00
<input type="checkbox"/> 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する	
<input type="checkbox"/> 停止するまでの時間	
<input type="checkbox"/> アクティブ化	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input type="checkbox"/> 有効期限	<input type="checkbox"/> タイムゾーン間で同期
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	

操作

No. 1	
優先順位	1
操作	プログラムの開始
設定	
プログラム/スクリプト	C:¥Users¥XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
引数の追加	
開始	

条件

アイドル	
<input checked="" type="checkbox"/> 次の間アイドル状態の場合のみタスクを開始する	00:10:00

アイドル状態になるのを待機する時間	01:00:00
-------------------	----------

- コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する
- ☐ 再びアイドル状態になったら再開する

電源

- コンピューターを AC 電源で使用している場合のみタスクを開始する
- コンピューターの電源をバッテリーに切り替える場合のみ停止する
- ☐ タスクを実行するためにスリープを解除する

ネットワーク

■ 次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
--------------------------------	--------------------

設定

■ タスクを要求時に実行する	
<input type="checkbox"/> スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにタスクを時刻する	
<input type="checkbox"/> タスクが失敗した場合の再起動の間隔	
再起動試行の最大数	0 回
■ タスクを停止するまでの時間	3.00:00:00
■ 要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に停止する	
<input type="checkbox"/> タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまでの時間	
タスクが既に実行中の場合に適用される規	新しいインスタンスをキューに追加

5. DNS

5.1. サーバーのプロパティ

No.1	SAY-TECH-SV01.com
------	-------------------

5.1.1. インターフェイス

リッスン対象	
<input checked="" type="radio"/> すべてのIPアドレス	
<input type="radio"/> 指定したIPアドレスのみ	

5.1.2. フォワーダー

IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
クエリ転送のタイムアウト	
3 秒	
<input checked="" type="checkbox"/> フォワーダーが利用できない場合にルートヒントを使用する	

5.1.3. 詳細設定

サーバーオプション	
<input checked="" type="checkbox"/> 再帰を無効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> BIND セカンダリを有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> ゾーン データが正しくない場合は、ロード時に失敗する	
<input type="checkbox"/> ラウンド ロビンを有効にする	
<input type="checkbox"/> ネットマスクの順序を有効にする	
<input type="checkbox"/> Pollution に対してセキュリティでキャッシュを保護する	
<input type="checkbox"/> リモート応答の DNSSEC 検証を有効にする	
名前の確認	マルチバイト (UTF-8)
起動時にゾーン データを読み込む	Active Directory とレジストリから
<input checked="" type="checkbox"/> 古いレコードの自動清掃を有効にする	清掃期間 8760 時間

5.1.4. ルートヒント

No.	サーバーの完全修飾ドメイン名	IP アドレス
1	a.root-servers.net.	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
2	b.root-servers.net.	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
3	c.root-servers.net.	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
4	d.root-servers.net.	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx

5.1.5. デバッグのログ

<input checked="" type="checkbox"/> デバッグのためにパケットのログを記録する			
パケットの方向	<input checked="" type="checkbox"/> 発信	<input checked="" type="checkbox"/> 着信	
トランスポート プロトコル: TCP	<input checked="" type="checkbox"/> UDP	<input checked="" type="checkbox"/> TCP	
パケットの内容	<input checked="" type="checkbox"/> クエリ/転送	<input checked="" type="checkbox"/> 更新	<input checked="" type="checkbox"/> 通知
パケットの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 要求	<input checked="" type="checkbox"/> 応答	

そのほかのオプション

<input checked="" type="checkbox"/> 一致しない着信応答パケットのログを記録する	
<input checked="" type="checkbox"/> 詳細	<input checked="" type="checkbox"/> IP アドレスでパケットにフィルターをかける
xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	

ログファイル

ファイルへのパスと名前	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
最小 サイズ(バイト)	500000000

5.1.6. イベントログ

次のイベントのログを記録します	<input type="radio"/> 記録しない	<input type="radio"/> エラーのみ	<input type="radio"/> エラーと警告	<input checked="" type="radio"/> すべてのイベント
-----------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---

5.2. 前方参照ゾーン・逆引き参照ゾーン

前方参照ゾーン 【1】

_msdcs.SAY-TECH-SV01.com

[1]全般

状態:一時停止	<input type="radio"/> ON	<input checked="" type="radio"/> OFF	種類	プライマリ ゾーン
<input type="checkbox"/> Active Directory にゾーンを格納する				
ゾーン ファイル	_msdcs.SAY-TECH-SV01.com.dns			

レプリケーション

レプリケーションスコープ	なし
--------------	----

動的更新		非セキュリティ保護およびセキュリティ保護	
------	--	----------------------	--

エージング

☐ 古いリソース レコードの清掃を行う

非更新間隔	7日00:00:00	更新間隔	7日00:00:00
-------	------------	------	------------

[2]ゾーンの転送

☒ ゾーン転送を許可するサーバー

ゾーン転送を許可するサーバー	次のサーバーのみ
ゾーン転送を許可するサーバー (IPアドレス)	xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx

通知

☒ 自動的に通知する

自動的に通知する	次のサーバーのみ
自動的に通知する (IPアドレス)	xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx

[3]DNSSEC

キーマスター

サーバー	SAY-TECH-SV01.com	状態	アクティブ
------	-------------------	----	-------

Next Secure

不在認証のために NSEC または NSEC3 を選択します	NSEC3 を使用する
反復回数	2500 回
ランダムな salt 長を生成する	255
ユーザーが指定した salt	-

トラストアンカー

☒ このゾーンに対するトラスト アンカーの配布を有効にする

☒ キー ロールオーバーに対するトラスト アンカーの自動更新を有効にする

詳細設定

DS レコード生成アルゴリズム	Sha1, Sha256, Sha384
DS レコードの TTL	1日03:46:39
DNSKEY レコードの TTL	1日03:46:39
署名の取得	7日00:00:00
安全な委任のポーリング間隔 (時間)	7日00:00:00

KSK/ZSK[1]

キーの種類	KSK
GUID	{xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx}

キーの生成

アクティブ キー	
スタンバイ キー	
次のキー	

キーのプロパティ

暗号アルゴリズム	RSA/SHA-1 (NSEC3)
キーの長さ (ビット)	4096
キーの生成と格納に使用する	Microsoft Passport Key Storage Provider
キー記憶域プロバイダー	
DNSKEY RRSET 署名の有効期間	7日00:00:00

☒ このゾーンに対して権限を持つすべての DNS サーバーにこの秘密キーをレプリケートする

キーのロールオーバー

☒ 自動ロールオーバー

ロールオーバーの頻度	755日00:00:00
最初のロールオーバーの遅延日数	00:00:00

[4]WINS

レプリケート	<div><input checked="" type="checkbox"/> このレコードをレプリケートしない</div>
IP アドレス	"xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx "
キャッシュタイムアウト	4294967295 秒
参照タイムアウト	4294967295 秒

[4]WINS-R

レプリケート

☒ このレコードをレプリケートしない

詳細設定

☒ DNS ドメインを NetBIOS スコープとして提供する

キャッシュタイムアウト	3600 秒
参照タイムアウト	2 秒
返された名前に追記するドメイン	SAY-TECH-SV01.com.

[5]SOA

シリアル番号	224		
プライマリ サーバー	SAY-TECH-SV01.com.		
責任者	hostmaster.SAY-TECH-SV01.com.		
更新間隔	00:15:00	再試行間隔	00:10:00
期限	1日00:00:00		
最小 TTL 値	01:00:00	このレコードのTTL	01:00:00

[6]ネームサーバー

No. 1

ホスト名	親フォルダーと同じ
サーバーの完全修飾ドメイン名	SAY-TECH-SV01.com.
IPアドレス (100件ごとに記入欄を分割しています。)	
xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxxxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx,	

No. 2

ホスト名	親フォルダーと同じ
サーバーの完全修飾ドメイン名	SAY-TECH-SV02.com.
IPアドレス	
xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxxxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx,	

[7]リソースレコード

SRV					
No.	ホスト名	優先順位	重さ	ポート番号	このサービスを提供しているホスト
1	_kerberos._tcp.Default-First-Site-Name._sites.dc	0	100	88	SAY-TECH-SV01.com.
2	_ldap._tcp.Default-First-Site-Name._sites.dc	0	100	389	SAY-TECH-SV01.com.
3	_kerberos._tcp.dc	0	100	88	SAY-TECH-SV01.com.
4	_ldap._tcp.dc	0	100	389	SAY-TECH-SV01.com.
5	_ldap._tcp.8b7afa19-48a4-4aa4-8344-b79ee6fd0a2b.domains	0	100	389	SAY-TECH-SV01.com.
6	_ldap._tcp.Default-First-Site-Name._sites.gc	0	100	3268	SAY-TECH-SV01.com.
7	_ldap._tcp.gc	0	100	3268	SAY-TECH-SV01.com.
8	_ldap._tcp.pdc	0	100	389	SAY-TECH-SV01.com.

CNAME

No.	完全修飾ドメイン名	ターゲット ホスト用の完全修飾ドメイン名
1	xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx_msdcs.SAY-TECH-SV01.com	SAY-TECH-SV01.com

5.3. 条件付きフォワーダー

条件付きフォワーダー 【1】

SAY-TECH-SV01.com	
種類	条件付きフォワーダー
マスター サーバー	xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxx.xxx.xxx.xxx, xxxxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx

■ この Active Directory に条件付きフォワーダーを保存し、次の方法でレプリケートする

レプリケーションスコープ	このドメインのすべてのドメインコントローラー(Windows 2000との互換性維持のため)
対象ドメイン	MicrosoftDNS
クエリ転送のタイムアウト	65535 秒

6. DHCP

6.1. サーバーのプロパティ

SAY-TECH-SV01.comのプロパティ

詳細設定

データベースのパス

C:¥Windows¥system32¥dhcp¥dhcp.mdb

バックアップパス

C:¥Windows¥system32¥dhcp¥backup

6.2. IPv4

全般

■ DHCP 監視ログを記録する

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS レコードを常に動的に更新する
- リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアントの DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

名前保護

☐ 名前保護を有効にする

フィルター

MAC フィルター

■ 許可リストを有効にする ■ 拒否リストを有効にする

フェールオーバー

(1)

関係名	SAY-TECH-SV01.com
このサーバーの状態	パートナーとの接続なし
パートナーサーバー	SAY-TECH-SV01.com
<input type="checkbox"/> メッセージの認証を有効にする	共有シークレット
<input type="checkbox"/> 状態の切り替え間隔	
クライアントの最大リードタイム	00:01:00
<input type="radio"/> 負荷分散モード	
ローカルサーバー(%)	
パートナーサーバー(%)	100
● ホットスタンバイモード	
このサーバーの役割	アクティブ
スタンバイ サーバー用に予約されているアドレス	
100	
フェールオーバーするスコープ	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 4
	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 5
	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 6

(2)

関係名	SAY-TECH-SV02.com
このサーバーの状態	パートナーとの接続なし
パートナーサーバー	SAY-TECH-SV02.com

■ メッセージの認証を有効にする	共有シークレット
■ 状態の切り替え間隔	49710日06:28:00
クライアントの最大リードタイム	49710日05:59:00
● 負荷分散モード	
ローカルサーバー(%)	50
パートナーサーバー(%)	50
○ ホットスタンバイモード	
このサーバーの役割	
スタンバイサーバー用に予約されているアドレス	
フェールオーバーするスコープ	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 1
	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 2
	[xxx.xxx.xxx.xxx] スコープ 3

詳細設定

検出の試行回数	5
監視ログファイルへのパス	C:¥Windows¥system32¥dhcp

サーバー接続結合

■ xxx.xxx.xxx.xxx	Ethernet4
□ xxx.xxx.xxx.xxx	Ethernet3
■ xxx.xxx.xxx.xxx	Ethernet2
■ xxx.xxx.xxx.xxx	Ethernet1

DNS 動的更新登録資格情報

ユーザー名	20\$%&'(~{`}_n^~!#
パスワード	
ドメイン	SAY-TECH-SV01.COM

ネットワーク アクセス保護

○ すべてのスコープに対して有効にする
● すべてのスコープに対して無効にする
ネットワークポリシーサーバー (NPS) にアクセスできない場合のDHCP サーバーの動作
フル アクセス

6.2.1. スコープ

スコープ 【1】	
スーパースコープ	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
スコープ	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
アクティブ / 非アクティブ	非アクティブ

6.2.1.1. プロパティ

全般	
開始IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
終了IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPクライアントのリース期間	
● 期間	999日23:59:00
○ 無制限	

説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
----	--------------------

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS レコードを常に動的に更新する
- リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

名前保護

- ☐ 名前保護を有効にする

詳細

- DHCP ○ BOOTP ○ DHCPとBOOTP

遅延構成/サブネット遅延	1000 ミリ秒
--------------	----------

6.2.1.2. アドレスプール（除外範囲）

開始IPアドレス	終了IPアドレス
xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx
xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx
xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx

6.2.1.3. 予約

(1)

[xxx.xxx.xxx.xxx] XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

全般

予約名

xxx.xxx.xxx.xxx

IPアドレス

xxx.xxx.xxx.xxx

MACアドレス

xx:xx:xx:xx:xx:xx

説明

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

サポートされている種類

- DHCPとBOOTP ○ DHCP ○ BOOTP

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS レコードを常に動的に更新する
- リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

オプション

オプション名	ベンダー	タイプ	値	クラス
251 追加オプションtest	追加2ベンダークラス	文字列	aaa	追加3ユーザークラス
001 Microsoft NetBIOS 無効化オプション	Microsoft Windows 2000 オプション	Long 型	0x1	規定のユーザークラス
003 Microsoft 既定ルーター メトリックベース	Microsoft Windows 2000 オプション	Long 型	0x0	規定のユーザークラス

(2)

[xxx.xxx.xxx.xxx] 予約2

全般

予約名

予約2

IPアドレス

xxx.xxx.xxx.xxx

MACアドレス

xx:xx:xx:xx:xx:xx

説明

予約説明

サポートされている種類

- DHCPとBOOTP ● DHCP ○ BOOTP

DNS

- ☒ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - ☐ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - ☒ DNS レコードを常に動的に更新する
- ☐ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☒ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

(3)

[xxx.xxx.xxx.xxx] 予約 3

全般

予約名

予約 3

IPアドレス

xxx.xxx.xxx.xxx

MACアドレス

xx:xx:xx:xx:xx:xx

説明

予約説明

サポートされている種類

- ☐ DHCPとBOOTP ☐ DHCP ☐ BOOTP

DNS

- ☒ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - ☐ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - ☒ DNS レコードを常に動的に更新する
- ☐ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☒ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

(4)

[xxx.xxx.xxx.xxx] 予約 4

全般

予約名

予約 4

IPアドレス

xxx.xxx.xxx.xxx

MACアドレス

xx:xx:xx:xx:xx:xx

説明

サポートされている種類

- ☒ DHCPとBOOTP ☐ DHCP ☐ BOOTP

DNS

- ☒ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - ☒ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - ☐ DNS レコードを常に動的に更新する
- ☐ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

(5)

[xxx.xxx.xxx.xxx] 予約 5

全般

予約名

予約 5

IPアドレス

xxx.xxx.xxx.xxx

MACアドレス

xx:xx:xx:xx:xx:xx

説明

説明

サポートされている種類

☐ DHCPとBOOTP ☒ DHCP ☐ BOOTP

DNS

- ☐ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
 - ☐ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - ☐ DNS レコードを常に動的に更新する
- ☐ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

6.2.1.4. スコープオプション

オプション名	ベンダー	値
001 Microsoft NetBIOS 無効化オプション	Microsoft Windows 2000 オプション	0x1
002 Microsoft DHCP リースのシャットダウン時の解放オプション	Microsoft Windows 2000 オプション	0x1
003 Microsoft 既定ルーター メトリック ベース	Microsoft Windows 2000 オプション	0x0

6.2.1.5. ポリシー

アクティブ / 非アクティブ	アクティブ
----------------	-------

(6)

スコープポリシー 5

説明	説明 5
処理順序	6
状態	有効

ポリシーのリース期間を設定する

☒ 期間 999日23:59:00

☐ 無制限

条件

条件	演算子	値
ユーザークラス	次の値と等しくない	*追加 1 ユーザークラス, 追加 1 ユーザークラス*

☐ AND ☒ OR

オプション名	ベンダー	値
111 追加 1 オプション	追加 1 ベンダークラス	xxx.xxx.xxx.xxx
251 追加オプションtest	追加 2 ベンダークラス	999999999
051 リース	標準	0x5265bc4
081	標準	0x0

DNS

☐ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする

- ☐ DHCP クライアントから要求があったときのみ DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS レコードを常に動的に更新する

☐ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する

☐ 更新を要求しない DHCP クライアントの DNS レコードを動的に更新する

☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

☐ 次の DNS サフィックスを使用して DHCP クライアントを登録する

名前保護 ☐ 名前保護を有効にする

6.2.1.6. ポリシーのIPアドレスの範囲

ポリシー名	IPアドレスの範囲
スコープポリシー	xxx.xxx.xxx.xxx - xxx.xxx.xxx.xxx
スコープポリシー	xxx.xxx.xxx.xxx - xxx.xxx.xxx.xxx

6.2.2. スーパースコープ

スーパースコープ名	スコープID
xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx,xxx.xxx.xxx.xxx,xxx.xxx.xxx.xxx
スーパースコープ 2	xxx.xxx.xxx.xxx.xxx.xxx.xxx.xxx

6.2.3. マルチキャストスコープ

マルチキャストスコープ 【1】

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

6.2.3.1. プロパティ

全般

開始IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
終了IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
TTL	255

リース期間

☒ 期間 999日23:59:00

☐ 無制限

状態 非アクティブ

説明

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

有効期間
無制限

6.2.3.2. アドレスプール（除外範囲）

開始IPアドレス	終了IPアドレス
XXX.XXX.XXX.XXX	XXX.XXX.XXX.XXX
XXX.XXX.XXX.XXX	XXX.XXX.XXX.XXX
XXX.XXX.XXX.XXX	XXX.XXX.XXX.XXX

マルチキャストスコープ【2】

マルチキャストスコープ 2 のプロパティ

6.2.4. BOOTPテーブル

No.	[ブート イメージ],[ファイル サーバー],[ファイル名]
1	ブートイメージのファイル名 1 SAY-TECH-SV01.com¥E\$
2	ブートイメージのファイル名 2 ,SAY-TECH-SV01.com.com¥F\$

6.2.5. サーバーオプション

オプション名	ベンダー	値
001 Microsoft NetBIOS 無効化オプション	Microsoft Windows 2000 オプシ ン	0x1
002 Microsoft DHCP リースのシャットダウン時の解放オプシ ン	Microsoft Windows 2000 オプシ ン	0x1

6.2.6. ポリシー

アクティブ / 非アクティブ	非アクティブ
----------------	--------

ポリシー【1】

ポリシー名	root2
説明	root2説明
処理順序	2
状態	有効

☐ ポリシーのリース期間を設定する

DHCPクライアントのリース期間

- ☐ 期間
- ☐ 無制限

条件

条件	演算子	値
ベンダークラス	等しい	Microsoft オプション*, *Microsoft Windows 98 オプション, Microsoft Windows 2000 オプション
ユーザークラス	次の値と等しくない	既定の BOOTP クラス*, *既定のルーティングとリモート アクセス クラス

- ☒ AND
- ☐ OR

オプション

オプション名	ベンダー	タイプ	値
002 Microsoft DHCP リースのシャットダウン時の解放オプション	Microsoft Windows 2000 オプション	Long 型	0x1
001 Microsoft NetBIOS 無効化オプション	Microsoft オプション	Long 型	0x1

DNS

- ☒ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
- ☒ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - ☐ DNS レコードを常に動的に更新する
- ☒ リースが削除されたときに、A および PTR レコードを破棄する
- ☐ 更新を要求しない DHCP クライアント の DNS レコードを動的に更新する
- ☐ DNS PTR レコードの動的更新を無効にする

次の DNS サフィックスを使用して DHCP クライアントを登録する

名前保護

- ☐ 名前保護を有効にする

6.2.7. フィルター

許可/拒否	MACアドレス	説明
許可	xx:xx:xx:xx:xx:xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
拒否	xx:xx:xx:xx:xx:xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

6.3. IPv6

*IPv4と異なる設定項目のみ出力

DNS

- ☒ 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
- ☒ DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS の AAAA レコードおよび PTR レコードを動的に更新する
 - ☐ DNS の AAAAレコードおよび PTR レコードを常に動的に更新する
- ☒ リースが削除されたときに、AAAA レコードおよび PTR レコードを破棄する

名前保護

- ☐ 名前保護を有効にする

詳細設定

サーバー接続結合

<input checked="" type="checkbox"/> xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	Ethernet3
<input type="checkbox"/> xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	Ethernet2
<input checked="" type="checkbox"/> xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	Ethernet1

6.3.1. スコープ

スコープ【1】

fc00:2019:: IPv6スコープ1のプロパティ

アクティブ / 非アクティブ アクティブ

6.3.1.1. プロパティ

全般

スコープ名	IPv6スコープ1
プレフィックス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
優先	0
使用可能な範囲	
開始	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
終了	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx

説明	IPv6スコープ1説明
----	-------------

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
- DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS の AAAAレコードおよび PTR レコードを常に動的に更新する
 - リースが削除されたときに、AAAA レコードおよび PTR レコードを破棄する

名前保護	<input type="checkbox"/> 名前保護を有効にする
------	-------------------------------------

リース

優先する有効期限	5日23:59:00
有効期限	10日23:59:00

6.3.1.2. 除外

No.	開始IPアドレス	終了IPアドレス
1	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
2	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
3	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx

6.3.1.3. 予約

(1)

[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx] 予約 IPv6スコープ2予約1 のプロパティ
--

全般	
予約名	IPv6スコープ2予約1
IPv6アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
DUID	00
IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	IPv6予約説明 1

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
- DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS の AAAAレコードおよび PTR レコードを常に動的に更新する
 - リースが削除されたときに、AAAA レコードおよび PTR レコードを破棄する

名前保護	<input type="checkbox"/> 名前保護を有効にする
------	-------------------------------------

(2)

[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx] 予約 IPv6スコープ2予約2 のプロパティ
--

全般	
予約名	IPv6スコープ2予約2
IPv6アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
DUID	07
IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	IPv6予約説明 2

DNS

- 以下の設定に基づいて、DNS 動的更新を有効にする
- DHCP クライアントから要求があったときにのみ DNS レコードを動的に更新する
 - DNS の AAAAレコードおよび PTR レコードを常に動的に更新する
 - リースが削除されたときに、AAAA レコードおよび PTR レコードを破棄する

名前保護	<input type="checkbox"/> 名前保護を有効にする
------	-------------------------------------

6.3.1.4. スコープオプション

オプション名	ベンダークラス	ユーザークラス	タイプ	値
65534 test00	Microsoft Windows オプション		バイト	0xFF, 0x00
65534 追加オプション 2	追加 1 ベンダークラス	追加 2 ユーザークラス	バイナリ	00

6.3.2. サーバーオプション

オプション名	ベンダークラス	ユーザークラス	タイプ	値
65534 test00	Microsoft Windows オプション	追加 1 したユーザーのクラス	バイト	0xFF, 0x00

65534 test00	Microsoft Windows オプション		バイト	0xFF, 0x00
65534 追加オプション 2	追加 1 ベンダークラス	追加 1 したユーザーの クラス	バイナリ	00

7. Windows サービス

本書で対象としている各機能の関連サービスの設定を記載しています。

No.1

全般

サービス名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
実行ファイルのパス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
スタートアップの種類	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

ログオン

☐ ローカル システム アカウント

☐ デスクトップとの会話をサービスに許可

☐ アカウント

アカウント名	
パスワード	

回復

最初のエラー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
次のエラー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
その後のエラー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
エラーカウン트의リセット	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
サービスの再起動	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

☐ エラーで停止したときの操作を有効にする

コンピューターの再起動のオプション

次の時間を経過後、コンピューターを再起動する	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
------------------------	--------------------

☐ 再起動する前に、このメッセージをネットワーク上のコンピューターに送信する

プログラムの実行

プログラム	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
コマンドラインのパラメーター	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

☐ コマンドラインにエラーカウン트의オプションを追加

本書の説明

本書の内容について、補足や特殊事項を以下に記載します。

◆ファイアウォール（詳細設定）

（接続セキュリティの規則の表記について）

[接続セキュリティの規則] - [詳細設定] - [IPsecトンネリング]で設定される[☐IPsecトンネリングを使用する]を選択した場合、
[接続セキュリティの規則] - [認証] - [方法] - [詳細設定]の1番目および2番目の認証方法を設定するUIでは、コンピューター
(Kerberos V5) で[☐Kerberosプロキシサーバーを使用する]とそのサーバー指定がありますが、未対応です。

（アプリケーション パッケージの表記について）

「このアプリケーション パッケージに適用する または、このアプリケーション パッケージ SID を持つ
アプリケーション パッケージに適用する」の項目について、OS上では適用されているアプリケーションの
「名前」と「ユーザー」が表示されますが、本書では出力に対応していません。
当該アプリケーションの「アプリケーションSID」のみが出力されます。

◆タスク スケジューラ（詳細設定）

（タスク スケジューラにおける日時(ISO8601)）

yyyy-MM-ddThh:mm:ss+09:00

- ・"T"は日付と時刻の区切りを示します
- ・末尾の"+09:00"もしくは"Z"は「タイムゾーン間で同期」を意味します。
Windows Server 2012 R2では、"Z"が出力 例) "2019-08-27T10:43:01.3099144Z"
Windows Server 2016以降では、"+09:00"が出力 例) "2019-08-27T19:43:01+09:00"

◆DNS

（出力範囲）

本項では、"WINS"、"WINS-R"、"SOA"、"ネームサーバー"の4種類のプロパティと"SRV"、"CNAME"の2種類のリソースレコード
を出力します。また、"CNAME"につきましては、「エイリアス名」を出力していません。そのため、以下の方法にてエイリアス
名を読み替えてください。

読み替え方法

- ・参照先：[リソースレコード] - [CNAME] - [完全修飾ドメイン名]
[完全修飾ドメイン名]は"[エイリアス名][サブドメイン][ゾーン名]"の文字列構成で出力されているため、[完全修飾ドメイン名]
の文字列から[サブドメイン]および、[ゾーン名]を抜いた文字列が[エイリアス名]となります。

（時間の出力形式）

DNSのリソースレコード(SOA)における「更新間隔」～「このレコードのTTL」の時間の設定は、本書では以下のような出力形式に
なります。

（書式 dd"日" hh:mm:ss.ffffff）

日が"0"の場合は、省略。ミリ秒 fffffff が"0"の場合は、省略。

例

90日00:00:00
10:10:12
00:00:05

UIでは「時間」、「分」までの設定ですがシステム内はミリ秒まで保持しており、ミリ秒(ffffff)まで出力する場合があります。

例

90日00:00:00.123456

（条件付きフォワーダーのマスターサーバーの表記について）

「マスターサーバー」の項目は[IPv4/v6アドレス]+[(FQDN)]で表記されますが、[(FQDN)]が表記されていないIPアドレスに関しま
しては、FQDNが名前解決出来ない状態を示しています。

（ネームサーバーのゾーン転送を許可するサーバーの表記について）

[前方参照ゾーン・逆引きゾーン] - [ゾーンの転送] - [ゾーン転送を許可するサーバー]に"ネーム サーバー タブの一覧にあるサー
バーのみ"を設定した場合に該当ゾーンにネームサーバーが1つも登録されていない場合、表示する対象が存在しないと判断し、空
欄で表示する仕様となっています。

実際の Windows の GUI とは表示が異なりますが、「該当ゾーンに、ネームサーバーが1つも登録されていない状態」と読み替えてください。

(ネームサーバーのゾーン転送を許可するサーバーの表記について)

[前方参照ゾーン・逆引き参照ゾーン] - [リソースレコード] の表について、Windows の GUI で表示される「ドメイン」の項目を表示していないため、リソースレコードの判別を行いたい場合には、表に記載された「ホスト名」を解読していただく必要があります。この「ホスト名」では下記表のように、Windows の GUI で表示される「ドメイン名」と「ディレクトリ構造」の文字列で対象リソースレコードのドメイン名を表記しており、先頭の部分がドメイン名を示しています。

例

Windows GUI 上の表記

ディレクトリ(1)：_sites.DomainDnsZones
└ディレクトリ(2)：_tcp.Default-First-Site-Name.
└ドメイン名：_ldap.

本書での表記

_ldap._tcp.Default-First-Site-Name._sites.DomainDnsZones
(「ドメイン名」 + 「ディレクトリ(2)」 + 「ディレクトリ(1)」)

◆DHCP

(時間の出力形式)

[IPv4] - [フェールオーバー] - [状態の切り替え間隔]などの時間の設定は、◆DNSの(時間の出力形式)と同様になります。

※注意事項

本書は、ローカルの管理者の設定を出力する為、グループポリシーを適用している環境では、実際に適用されている設定と異なる内容が表示される場合があります。